

「日本一のインバウンド応援都市 浜松」宣言

関連事業

1. 目的

浜松市をインバウンド（主に訪日外国人とする）へのおもてなし日本一にするため、各団体と連携し、「日本一のインバウンド応援都市 浜松」宣言を行います。

具体的には、各団体と連携しながら、以下の活動を行ってまいります。

2. 具体的な事業

①キャッシュレス決済セミナーの実施

各種キャッシュレス決済セミナーを開催し、事業所のキャッシュレスの取組みについて支援する。（セミナー：2019年3月、5月、7月、9月～）

②キャッシュレスアドバイザー（普及員）の設置

キャッシュレスアドバイザー（普及員）を設置し、事業所のキャッシュレス決済の普及啓蒙を図る。

③関係者担当者連絡会の開催

キャッシュレスアドバイザー（普及員）等による担当者連絡会を実施し、浜松市のキャッシュレスの取組み、啓蒙、支援に関する情報を共有し、普及促進を図る。

④多言語対応通訳機の貸与と地図アプリへの貸与事業所の地図表示の実施

該当する事業所に通訳機を貸し出し、事業所の地図アプリへのマッピングを行い、インバウンド対応している旨をインターネット上で告知、事業所への誘客とおもてなし会話等を促進する。

⑤おもてなし規格認証の普及啓蒙

浜松市のインバウンド対応を促進するため、「おもてなし規格認証」の普及啓蒙を図る。

⑥浜松市におけるWi-Fi環境の整備促進

浜松市内全域で訪日外国人がフリーにWi-Fiにアクセスできるよう、浜松市のWi-Fi環境整備を促進する。

⑦広域連携等による誘客プロモーション

市単独のほか、国、県等や空港及びJR、NEXCOなどの二次交通事業者と連携した共同プロモーションを実施し広域周遊ルートでの滞在促進を図る。

（海外の旅行博への出展やセミナーの開催、デジタルプロモーションによる情報発信により、本市の観光地としての魅力発信を積極的に行う。）

⑧海外事業者等とのマッチング機会の創出

海外の旅行会社やメディア等を招請し本市の観光情報を紹介するとともに、商談会などを開催する。

⑨海外の都市との協定による観光交流

中国（瀋陽市、杭州市）台湾（台北市）との友好都市提携を活用し、相互プロモーションやメディア露出等の情報発信による観光誘客を図る。

⑩手ぶら観光の推進

外国人旅行者の市内周遊の利便性を高めるため、浜松市観光インフォメーションセンター及び浜松魅力発信館「The GATE」において、手荷物預かりサービスを実施する。

「日本一のインバウンド応援都市 浜松」宣言

人口減少社会の到来に対し、国は、観光を「地方創生」の切り札、成長戦略の柱に位置づけ、訪日外国人旅行者数を2020年には4,000万人、2030年には6,000万人などの目標を設定し「観光先進国」の実現を目指しています。

浜松市においても、観光分野は交流人口の拡大をけん引し、地域の持続的発展を支える産業として官民が連携して誘客やプロモーションなど訪日外国人旅行者の取り込みを進めてまいりました。

その結果、年間30万人泊を超える外国人宿泊客を獲得するに至っていますが、まだまだ、地域での周遊や滞在時間の延長は不十分であり、訪日外国人旅行者の経済効果を十分に享受しているとは言い難い状況です。

こうしたなか、本年、秋にはラグビーワールドカップ2019が開催されるとともに、来年には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることから、この機会をとらえインバウンドの取り込みを一層強化する必要があります。

このため、来訪者が心から楽しめる観光コンテンツの充実を図り、積極的に情報発信をしていくと同時に、訪日外国人の滞在時の利便性を向上し、円滑なコミュニケーションを可能とするおもてなし態勢の構築に地域が一丸となって取り組まなければなりません。

ここに、私たちは、「日本一のインバウンド応援都市浜松」を宣言し、特に、訪日外国人旅行者へのおもてなし日本一の都市の実現を目指してまいります。

官民を挙げたおもてなしを通じて、訪日外国人旅行者が快適に過ごし、また来たいと感動する都市づくりを進めてまいります。

2019年3月12日

遠州信用金庫	理事長	守田 泰男
株式会社静岡銀行	頭取	柴田 久
浜松いわた信用金庫	理事長	御室 健一郎
浜松市	市長	鈴木 康友
浜松商工会議所	会頭	大須賀 正孝
一般社団法人浜松商店界連盟	会長	御園井 智三郎
公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー	理事長	大須賀 正孝
浜松まちなかにぎわい協議会	会長	斉藤 薫
HAMAMATSU FREE Wi-Fi協議会	会長	森 永春二

(50音順)